

日時：2017年10月5日（木）18:00～20:00

場所：2号館17階国際会議場

共催：駐日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、上智大学

オフィシャル・パートナー：

ヴェオリア・ジャパン株式会社、全日本空輸株式会社

後援：内閣府男女共同参画局、上智学院ダイバーシティ推進室

テーマ：日仏討論会「新しい働き方に向けて～女性の変革の鍵？」と題してよりよい働き方について女性という観点から日仏双方の事例をもとに議論しました。

パネリストとして、女性とパワー社創業者ジュリア・ムゾン氏、ハッピーメンネットワーク創業者アントワヌ・ド・ガブリエリ氏、イクメン官僚として知られている山田正人氏、本学法学部三浦まり教授を、司会には本学OGでビジネス・インサイダー・ジャパン統括編集長浜田敬子氏をお迎えして、女性も男性も共に、その持てる能力を存分に発揮できる働き方はどのようなものかを議論しました。会場には本学学生その他、国際フランス学園の生徒さんたちなど約210名が参集し、熱気に溢れる討論会に聴き入り、長時間労働と評価システムについての疑問や不安をパネリストに投げかけました。



議論の中から見えてくるものは、女性は優しさより正当な評価を望んでいることでした。また、ワーク・ライフ・バランスは女性のための施策ではなく、むしろ男性にこそ当てはまるのではないかと。元財務官僚でハッピーメンネットワーク創業者のガブリエリ氏は、経営者が変わらなければ何も変わらないとの信念のもと、企業に働きかけ、500人の管理職の方を組織化していわゆるフランス版「ファザーリンググループ」を創立しました。フランスでも、女性の社会進出は進んできてはいるものの、本当の男女平等に達するには、まだ努力を続けなければならないとのこと。日本では長時間労働と転勤をしなければ昇進しないと言われていて、日仏ともに長時間より労働生産性や質の高さを正当に評価するシステムが望まれます。こうした仕組みを変えるには政治分野への女性の進出が必要と三浦教授は指摘され、またジュリア・ムゾン氏は政界や実業界における女性リーダー養成のため会社を立ち上げています。

最後に武川内閣府男女共同参画局長から、女性が就業を継続できるように保育園の設置、企業における女性活用の数値目標、ESG投資、男性の家庭での役割増などの施策を打ち出しており、近い将来、出産がキャリア形成の障害とならないことを目指してゆくとの力強いお言葉がありました。

討論会終了後、女子学生がパネリストのところへ駆け寄って「わたしの人生を変えてくれました」と思いのたけを伝えた一場面もありました。就活を控えた学生達にとっては今回の日仏討論会は陰しくも明るい未来を示唆する実り多いものとなりました。



日仏討論会パンフレットより



上智学院におけるワーク・ライフ・バランス施策

1. 2012年度から育児（介護）中の教員を対象とした研究支援員制度を運用
2. 2017年度から学会等における託児サービス補助制度を導入 **New!**
3. 2016年度から職員向け朝型勤務を導入
4. 2017年度から職員向けフレックス勤務を試験導入 **New!**
5. 学内託児所の開設・運営
6. 授乳スペース（コモンスペース内）
7. 出産・育児、介護支援のための制度等



Sophia Diversity Week 2017

ダイバーシティ・ウィーク

人権週間をはさむ11月25日～12月11日の期間、例年開催していたパープルアクション（女性への暴力撤廃活動）を発展させ、取り組みの対象を広げ、さまざまな企画を開催しました。ダイバーシティ推進室とダイバーシティ学生実行委員会@tokkenおよび多分野の教員との協働による取り組みとなりました。ますます進むグローバル化に伴い、同時に求められる社会における多様性の包摂を目指し、まずは「知ること」「理解すること」を目的としました。



プログラム

1 ブックフェア

「人権」「ダイバーシティ」をテーマに、さまざまな専門分野の先生方から関連図書を推薦いただき、展示、販売を行いました。女性研究者支援事業プロジェクト、男女共同参画推進室からダイバーシティ推進室になるまでの年表も展示しました。

- ▶ 中央図書館 11月27日（月）～12月10日（日）
- ▶ 紀伊國屋書店上智大学店 11月25日（土）～12月11日（月）



2 LGBT 関連 映画上映会 “for the BIBLE tells me so” 2017年12月4日（月）7号館14階

敬虔なクリスチアンの家庭に育った青年がLGBTである事をカミングアウトしたことからストーリーが展開し、家庭内での葛藤や宗教上の問題、それぞれの立場での理解など「宗教」「家庭」「社会」などの視点からLGBTを取り上げたドキュメンタリー作品を上映しました。

ドイツより監督のKarlsruhe氏（米国人）が来日し、この映画製作の意図や思いを語りました。



3 シンポジウム「みんなのグローバル・キャリア」2017年12月11日（月）

（2015・2017年度上智大学学術研究特別推進費成果公開シンポジウム）

場所 2号館17階国際会議場

パネリスト 近藤明日香氏（日本経済新聞社、FT事業室兼グローバル事業局）
大仲 千華氏（株式会社 Peace Blossom代表）
伊藤 久美氏（みずほ証券 投資銀行部門）
河村 愛氏（開発コンサルタント、グリーンエイト株式会社）



「みんなのグローバル・キャリア」では日本の大学を卒業後、現在はグローバルに活躍する女性たちをパネリストにお迎えし、ご自身のキャリアを切り拓いたきっかけやこれまでの体験をお話いただきました。

最初からグローバルを目指していたわけではなく、キャリア・アップするに従って、グローバルな環境に身を置くようになったと語られる姿に、その人その人のグローバルキャリアを垣間見ることができました。学生へは、大学での学びとともに多くの本と人に出会うことが重要であるとの助言がありました。

最後の質疑応答では、中学3年生の女子生徒から、今すべきことは何かとの質問があり、「考える力」をつけるようにとの励ましの言葉がありました。

《 Sophia Diversity Week 2017 》

学生実行委員会@token 企画



有志学生グループがダイバーシティ・ウィークに4つの企画を実施しました。

1. LGBTs

11月27日(月) 17:30～ 7号館 14階

性はグラデーション～あなたの気づきで世界は優しいものになる～

2人の当事者ゲストを向かえ、それぞれの立場から、多様な性の問題を真摯に明るく、日常の生活感も交えてお話をいただきました。偏見や誤解を生じさせないLGBTsへの新たな認識を持つことができ、よい機会となりました。



2. 日本における人種差別

11月28日(火) 17:00～ 7号館 14階

～部落、在日、ハーフと考える真のダイバーシティとは～

属性の異なる4人のマイノリティゲストを迎え、永年日本で生活して感じる違和感、差別感について発言いただき、それらを踏まえ、参加学生と熱気ある質疑応答が行われました。



3. ジェンダー

11月29日(水) 17:00～ 7号館 14階

～抵抗の大きい男性特権を考える～

参加者はいくつかのグループに分かれ、日本において男性が持つ特権に関するチェックシート作業を行い、ジェンダーの問題をグループワークの中でそれぞれが考え、活発な意見交換を行いました。



4. 障がい者

11月30日(木) 17:00～ 6号館 205教室

あなたは健常者ですか～健常者について考えるティータイム～

授業内で行った障がい者に関するアンケートの分析結果を通して、日頃、私たちが障がい者をどのように捉えているのかを明らかにしていきました。

後半は精神障害のある方々から、日常生活をする上でのさまざまな問題をお話いただきました。



第2回ダイバーシティセミナー「LGBTsとの共生～大学でできること」を開催しました。

日時 2017年10月16日(月)17:15～18:30 場所 図書館9階921会議室



お茶の水女子大学基幹研究院准教授 石丸 径一郎氏を講師としてお招きして「LGBTsとの共生～大学でできること」を教職員を対象に開催しました。詳細で多岐に亘る講義に参加者は充実した時間を共有しました。

昨年3月に開催した第1回のダイバーシティセミナーは「LGBT基礎演習」と題し、LGBTの基礎的な理解とキリスト教の立場と性的マイノリティについて、学内講師から講演をいただきました。今回は専門家の立場から、日本および海外における現状と対応を自身の体験を基に具体的に説明いただき、LGBTsを深く理解する良い機会となりました。

最初にLGBTの基本となるL,G,B,Tの一つひとつについて説明があり、便宜上、区分されてはいるがそれぞれの概念の厳密な定義のむずかしさを指摘されました。LGBの日常生活体験、LGBTが社会生活において困ること、Tに関する診断治療、性の多様性の総称の難しさなど、普段なかなか知ることができない内容について具体的にふれていただきました。

後半は大学とLGBTsとの取組みをとり上げ、いくつかの大学の事例をあげてくださった中で、特に東京大学のLGBT関連サークルなどの歴史や現状をお話いただきました。石丸先生より資料として「できることガイドin東京大学」が参加者へ配布されました。最後に「弱者を支援する」という姿勢は当事者の自尊心を損なう、これからは共生するという姿勢が必要になってくるだろう、という発言で講演を締めくくられました。

「日本の女性と貧困」の講演会を実施しました。

日時 2017年6月26日(月)17:00～18:30 場所 10号館3階301会議室



NPO法人自立生活サポートセンター・もやいの事務局長 加藤 歩さんを講師にお招きし、「日本の女性と貧困」というテーマでセミナーを開催しました。さまざまなデータを用いて貧困の現状を解説すると同時に、ご自身のライフストーリーを材料にして、どこに貧困のリスクが潜んでいるのかを明らかにしました。さらに「女性であること」が貧困のリスク要因になってしまっている日本の社会構造について議論を深めました。様々な学部から70人以上がこのセミナーに参加し、生活補助の現状を含め踏み込んだ質疑応答がなされ、この問題について学生が深い関心を寄せていることがわかりました。

ロールモデル集Ⅶ「ソフィアのダイバーシティ～日本を知る、世界を知る」を発行しました。

2017年4月1日付で男女共同参画推進室からダイバーシティ推進室へ改称したため、今回は「ソフィアのダイバーシティ」と題して、本学に在籍する多様な国籍の学生、教職員にスポットライトを当てました。

学生の国籍は、ベトナム社会主義共和国、モンゴル共和国、ミクロネシア連邦、ヨルダン・ハシミテ王国、イラン、スロバキア共和国、グアテマラ共和国の7人。教員は、インドネシア共和国、フィリピン共和国、インド、ドイツ連邦共和国、フランス共和国、スペイン、アメリカ合衆国、ブラジル連邦共和国の8人。職員は、台湾、中華人民共和国、大韓民国の3人。

世界の様々な国から縁あって本学にいらした方がたの「男女共同参画(Gender Equality)や多様性」についての意見やメッセージに触れることで、日本の現状を新めて知るきっかけとなる一冊となりました。今後も多様性を尊重し、グローバルキャンパスを目指していききたいと思います。



意見・メッセージ

- ・グローバルで多様な社会になるために、日本は子供たちが外国の文化に触れる機会をさらに多く提供するべきと考えます。外国のテレビ番組やドラマが効果的な手段となります。(ベトナム)
- ・多くの女性が企業の管理職に着き、指導的立場に立ち、ガラスの天井を突き抜けるようになればよいと思います。(ミクロネシア)
- ・若い世代が外国人との関係を深めればよいと思います。(ヨルダン)
- ・日本がよりグローバルで多様な社会になるためには、多様性を認めると同時に自分と相手の違いを意識しすぎないことが重要になります。人種だけでなく、言語、文化、性別などの違いを意識すると自分と相手との差を強調することになります。(ブラジル)
- ・若いうちから海外経験を積むことはとても貴重で重要であり、教育が持つ力は大きいので、今後も日本の若者が子どものうちから、教育機関等を通して国際交流を体験したり、海外留学したりする機会が増えれば、様々な価値観を受け入れられる多様な社会になっていくのではないかなと思います。(中国)

※ロールモデル集をご希望される方は事務局までご連絡ください。

オープンキャンパス

「英語でサイエンス! & プレソフィアンズカフェ (参加型授業)」開催

日時 2017年8月1日(火)～8月3日(木)3日間 場所 2号館コンピュータールームC, 2号館406会議室

英語でサイエンス!

8/1

Taking chemical experiment to cyberspace!
化学実験をサイバー空間に連れて行く!

南部 伸孝 教授 (理工学部物質生命理工学科)

8/3

Mystery of Low Temperature and What is the Superconductivity?
低温のミステリー 超伝導ってなに?

足立 匡 准教授 (理工学部機能創造理工学科)

プレソフィアンズカフェ

8/2

大学、そしてその先へ
～未来の自分をデザインしよう～

田淵 六郎 教授 (総合人間科学部社会学科)

次世代育成のために上記の2種類のプログラムをオープンキャンパスで開催しました。多くの高校生が英語による理工系の授業に挑戦し、また、プレソフィアンズカフェでは自分の未来をワークショップ形式で楽しく真剣に考えました。

グローバル・メンター相談会、講演会を開催しました。

これまで自然科学分野を中心に行っていたグローバル・メンター相談会、講演会を今年度から人文・社会科学分野にも広げていきます。

グローバル・メンター相談会

日時 2017年10月11日(水)12:30～13:30

場所 10号館3階315室

専門 文化人類学

メンター 西村 恵子氏 (ノースカロライナ大学チャペルヒル校)

個別の留学相談や人生相談が行われ、西村先生はご自身の経験に基づき具体的かつ丁寧に学生に対応され、引き続きメンターとして指導くださることにしています。



グローバル・メンター講演会

日時 2017年12月13日(水)17:00～18:20

場所 10号館3階301会議室

専門 社会心理学

メンター Assoc. Prof. Homer Yabut, De La Salle University

タイトル アジア人であること: アジア人の心理学とは?
西洋の心理学とは異なる、アジアにはアジア人の、フィリピンにはフィリピン人の、日本には日本人の心理学というものがあるのではないかと問題提起がなされた。現地の文化や言葉を例に挙げ野心的な分析が紹介された。参加者は西洋の主流心理学プラスアルファな視点を学ぶことができ、大変興味深い講演会でした。

